

持続可能な開発目標（SDGs）と人権教育

2015年9月に国連において採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」では、17個のゴールと169個のターゲットが示されており、「誰一人取り残されない」という理念を掲げています。

■SDGs（エス・ディー・ジーズ）とは

- Sustainable Development Goalsの略称。
- 2030年までに、持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。
- 地方自治体、企業だけではなく全ての人々がそれぞれの立場から目標達成のために行動することが求められている。



SDGsを含む「持続可能な開発のための2030アジェンダ（行動計画）」には、前文や本文に人権に関する様々な内容が盛り込まれています。また、「誰一人取り残されない」という視点は、人権教育に取り組む際にも重要であり、**持続可能な社会の実現のベースには人権尊重の考え方がある**と言えます。

■持続可能な社会の創り手として

これからの学校には、こうした教育の目的及び目標の達成を目指しつつ、一人一人の児童（生徒）が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

【出典：小（中・高等）学校学習指導要領 前文】

■SDGsと人権教育はつながっている

SDGsを授業で取り扱い、その中にちりばめられている人権に関する内容を学習することも、人権教育の一つの取組である。

【出典：人権教育を取り巻く諸情勢について～人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕策定以降の補足資料～ 令和3年3月 学校教育における人権教育調査研究協力者会議】

SDGsについて人権の視点で問題を捉え、自分事として考える

SDGsを人権の問題として取り組むためのポイント

- ◆ SDGsを「権利」の視点から考え、様々な問題によって引き起こされる、「権利の侵害」について学ぶ。
- ◆ 権利の侵害には、自分が間接的に関わっていることもあるという視点を持つ。
- ◆ SDGsと自分との接点を考え、自分事として捉えることができるようにする。

人権教育としてSDGsを取り扱うために

- ・ 興味のある目標を選び、その目標のターゲットと指標を調べてみましょう。
- ・ 「権利」の視点から考えたときに、「誰の」「どんな権利」の侵害が起きる可能性があるか考えてみましょう。
- ・ 「どの教科、領域の授業で取り扱うか」「どんなことを取り上げて学習するのか」指導計画を立てましょう。

<取り組む際の参考資料>

[文部科学省]
教育現場におけるSDGsの達成に資する取組 好事例集



[岐阜県 SDGs推進課]
SDGsの取組みPR



◆ SDGsの目標の中で「人権」に深くかかわるもの

<p>4 質の高い教育をみんなに</p>  <p>目標4 全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する</p> <p>【関連する人権】 ● 教育を受ける権利 等</p> <p>【目標達成に向けた行動例】 ● 教材や文具を寄付する ● SDGsについて考える</p>	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>  <p>目標5 ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女子の能力強化を行う</p> <p>【関連する人権】 ● 女性の人権 等</p> <p>【目標達成に向けた行動例】 ● 家事の分担を話し合う ● 男性の育児休暇取得への理解を深める</p>	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p>  <p>目標10 各国内及び各国間の不平等を是正する</p> <p>【関連する人権】 ● 平等権 ● 差別の撤廃 等</p> <p>【目標達成に向けた行動例】 ● 差別やいじめをしない ● 互いの違いを認めて理解する</p>	<p>16 平和と公正をすべての人に</p>  <p>目標16 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する</p> <p>【関連する人権】 ● 生命、自由及び身体の安全に対する権利 等</p> <p>【目標達成に向けた行動例】 ● 平和に関する記事を読む ● 地域の問題を知る</p>
---	---	--	---

◆ 上記以外のSDGsの目標

<p>1 貧困をなくそう</p>  <p>目標1 あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる</p>	<p>8 働きがいも経済成長も</p>  <p>目標8 包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する</p>	<p>14 海の豊かさを守ろう</p>  <p>目標14 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する</p>
<p>2 飢餓をゼロに</p>  <p>目標2 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する</p>	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  <p>目標9 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る</p>	<p>15 陸の豊かさも守ろう</p>  <p>目標15 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する</p>
<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>  <p>目標3 あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>  <p>目標11 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する</p>	<p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>  <p>目標17 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する</p>
<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>  <p>目標6 全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する</p>	<p>12 つくる責任 つかう責任</p>  <p>目標12 持続可能な生産消費形態を確保する</p>	<p>13 気候変動に具体的な対策を</p>  <p>目標13 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる</p>
<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>  <p>目標7 全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する</p>	<p>13 気候変動に具体的な対策を</p>  <p>目標13 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる</p>	<p>2030年に向けて 世界が合意した 「持続可能な開発目標」です</p>

「人権という普遍的文化」を 築いていくために

— 「ひびきあい活動」を核とした継続的な取組の充実 —

優れた取組を継続して行っている「人権文化あふれる学校賞」を受賞した園・学校の実践事例を紹介します。

郡上市立はちまん幼稚園

◇ 毎月「心育（こころいく）」の目標を掲げ、様々な活動を通して、自分も友達も大切にできる心を育てています。

○継続して取り組んでいること

- ・ 「心育」の目標を月初めの集会で園児と確認し、活動の中で意識ができるようにしています。
- ・ 体づくり活動を通して、自分に自信を持ち、仲間の頑張りを認める心が育っています。
- ・ 遊びや生活の中で、異年齢間のつながりや関わりを大切にする活動をしています。
- ・ 外部機関や地域の方と交流できる機会を工夫し、多くの方から大切にされていることを実感できるようにしています。



○取組のすばらしさ

- ・ SDGsを意識し、エコや食品ロス、人権等に関する活動やSDGsに関する絵本の親子読書を通して、人を思いやる気持ちや、物や食べ物を大切にする気持ちが育っています。

高山市立荘川小学校

◇ 互いのよさを認め合う活動を通して、励まし合って共に高まろうとする心や正しく判断して行動する力を育てています。

○継続して取り組んでいること

- ・ 仲間のよさや「ぼかぼか言葉」をカードに書いて廊下に掲示したり、「ぼかぼか集会」を開いて相手の気持ちを考えた言葉がけについて交流したりするなど、温かい雰囲気のある学校づくりに全校で取り組んでいます。
- ・ 校区の中学校や家庭と連携して、いじめ撲滅のための運動を行っています(ピンクシャツデー)。



○取組のすばらしさ

- ・ なぜ「ぼかぼか言葉」を使うとよいのか、どうして「ピンクシャツデー」が始まったのかなど、意味や価値が実感できる活動を計画的に位置付けて取り組んでいます。

関市立旭ヶ丘中学校

◇ 人権学習や生徒会活動を通して、日常生活の中にある差別的な事象について、主体的に判断し、行動する力を育てています。

○継続して取り組んでいること

- ・ 毎月、人権新聞を全校一斉に読む時間を設け、人権課題について自分の考えを持つとともに、仲間の考えにも触れながら人権感覚を磨いています。
- ・ 仲間とよさを認め合う活動や、全校で大切にしている「旭快心宣言」にある「やさしい言葉」を大切にする活動、小学校でのあいさつ運動等、生徒会の工夫ある活動を通して、互いを大切にする仲間関係を築いています。



○取組のすばらしさ

- ・ 生徒の主体性を大切にした活動や、人権課題について考える時間、外部講師による講演会等を行っています。こうした取組を継続し、日常生活の諸問題に向き合い、主体的に判断し、行動する力を育てています。

岐阜県立坂下高等学校

◇ 地域の方や地元の中学生との交流を通して、相手の立場に立って行動する力を育てています。

○継続して取り組んでいること

- ・ 地域の米寿を迎える方に対して全校生徒がお祝いのメッセージを送るなどの交流を13年間にわたって続けています。
- ・ 個別の人権課題についても学習を進め、普遍的な視点とともに人権意識を深めています。



○取組のすばらしさ

- ・ 地元の中学生にも地域の方と継続して交流を深めていくことの意義を伝えたところ、ともに取り組むことにつながりました。
- ・ ひびきあい活動を通して、相手の立場に立って物事を考えたり、発言したりできる場面が増え、成長の様子が見られます。